

# 令和4年度 総務経済委員会 行政視察報告書

## 「A級グルメ」「日本一の子育て村」によるまちづくり

---

日付：令和4年7月12日（火）

場所：島根県邑南町役場

邑南町にバスで乗り入れ、山と自然に囲まれた景色を窓から眺めて、先ず気になったのは住宅の屋根の色がほぼ全て赤茶色になっていることが気に掛かりました。役場で聞いたところ、昔から岩見地方で生産される石州瓦（日本3台瓦のひとつ）と言うことが判明。町並みで多くの方に視覚で訴える景観となると思いました。伊豆市でその様なものがあるだろうか？と感じた。

「A級グルメ」の構想は、地元の皆さんが一生懸命、手を掛けて育てて、それをB級、C級と呼べない。またA級には素晴らしいA級、永久に続くことと思いが詰まっています。邑南町で豊富に生産される野菜をしっかりと売り込み食していただく、ここでしか味わえない食や体験の仕組みづくりの出来たまちづくりをやられていると思います。観光交流人口の増加、農産物の付加価値の向上、町民所得の向上を実現するための良いモデル地域と感じました。

また、事前情報もあったことから最初の仕掛けを浸透させるまでの努力を感じることも出来ました。

「日本一の子育て村」については、地元若者、定住者を呼び込む雇用の創出のため、企業誘致を行い実現してきた。耕すシェフ（地域興し協力隊）でも2名のシェフが働いている。

伊豆市では、ワサビや椎茸の栽培は注目度が強いが、他の農産物、水産物も多種多様に栽培されていると思う。

今後は市内の農産物を良く注視して伊豆市版A級グルメを市外から食しにこれる工夫が必要と考える。

## ふるさと納税返礼品の仕組みによるまちづくりの構築

---

日付：令和4年7月13日（水）

場所：広島県北広島町役場

北広島町役場に到着し、ガラス張りの庁舎と壁にまで張りめぐられた太陽光パネルが目につき、広い敷地であることが確認できた事がとても印象的でした。今回の研修は同敷地の隣に建設された旧公民館の現まちづくりセンターでの研修となりました。どちらも町のシンボリックな存在となる建造物であると推察しました。立派な建造物であり、建設前はハコモノに莫大な予算を掛けるべきではないと、市民の反対意見もあったようです。

今回、研修で訪れている時にも市民団体の利用もしているようでした。また、町民からの図書館や芝生の整備された広々とした遊具のない広場は評価も高いようですし、子供達が楽しみ喜んで利用していると聞き、伊豆市での今後の公園整備の在り方の参考になると感じています。ワンポイントでカバの置物が有り、良いアクセントとなっていると感じた。

北広島町はふるさと納税の返礼品への取組みは、伊豆市に比べても遅いと感じているが、邑南町の元職員で食を通じたまちづくりを手がけたビレッジプライドの寺本代表が北広島町をPRする新法人のアドバイザーになる事で飛躍していくのではないかと期待している。

伊豆市も今までに無いふるさと納税額になってきたが、宿泊券を中心とした返礼品を伸ばすには食への取組みでの差別化を図る必要があると思う。また、北広島町は歴史文化が根強く残る町で神楽踊りを行う団体が市内で70団体もあると聞いて驚いた。子供の頃から地域文化に触れ、体験していくことが地域に若者を残すには必要なのではないだろうか。地域の歴史を子供の頃からことある毎に聞かされ育つのと、否では地域への愛着に温度差が生じる事を、NHK大河ドラマで注目された現在の市内の環境を見ていると考えさせられた。

## 食の学校、ヒワココ、千蓼庵、寺本ファーム、ビレッジプライド本社、香木の森について

---

日付：令和4年度7月13日（水）

場所：島根県邑南町

食に愚直な姿勢、真っ直ぐ突き進む意欲に溢れた会社であることが良くわかる。ヒワココのスーパー運営は限界集落を保つには必要な存在で有り、これから人口減少が訪れる地域では必ず訪れる問題であることは想像できる。

私の住む修善寺ニュータウンでの買い物ツアーの活動は、未だ必要とする人は少ないが必ず考えていかなければならない問題と思うので、今回のヒワココも頑張ってもらいたい。

修善寺温泉を中心とした地域にはそば屋が多く存在する。しかし、観光客も含め「なぜ、蕎麦なのか」と聞かれても蕎麦の生産地ではないので答えに困っていた。今後は地域の強みを更に伸ばすため、修善寺地域での蕎麦生産を考えても良いのではないかなと思う。また、荒廃した田んぼの活用以外にも雇用の創出、収入増にも考えていけるのではないだろうか。

ビレッジプライド本社が空き家を利用していた。しかも、大きなリフォームはないと感じた。伊豆市の企業誘致も同じ様に空き家をそのまま活用するのも良いのではないかな。

建設業の傍らチョウザメの養殖をしている事業者の姿はいざという時の不況にも強い会社であって欲しいと願った。また、建設業者だから出来たと思う養殖場の整備に関心した。町全体が食への関心を強く持ち、地域の生産物を大事に育て、それで成長していこうと向かう姿勢に強く感心しました。